

地整 第 1605号  
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

新発田市長 片山 吉忠



「今後の道路行政についての意見・提案」の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました  
標記の件について別紙のとおり回答いたします。

1) 日本海沿岸東北自動車道について

日本海側の新潟以北においては、高速自動車道の整備が遅れており、ネットワーク化されていない。特に県境を越えるためには国道7号線以外に幹線道路がないため、通行止めとなった場合には大きく迂回せざるを得ず、経済的損失が大きい。

日本海側の流通、経済の発展および交流促進のためにも、一時も早く日本海沿岸東北自動車道の全線開通を望む。

2) 「道路整備費の財源等の特例に関する法律の一部を改正する法律案」等について

国庫補助負担率のかさ上げを強く要望する。

地方財政は逼迫しており、今後の税収についても大きな伸びは期待できない。したがって、無利子貸付金制度を利用したくとも、今後の歳入が期待できない状況では、利用しづらいのが実情である。よって、地方道路臨時交付金等他の国庫補助金においてもより高い補助率への改正を望む。

3) 道路構造令について

交差点計画において、右折車線等を設計する場合の滞留長やテーパー長の算出の仕方が掲載されているが、手法はそれのみではなく「改訂 平面交差の計画と設計」((社)交通工学研究所)など関連図書に謳われている「現場の実情に合わせて長さを短縮する手法」も有効とされている。

こうした点も道路構造令に掲載していただければ多種多様な図書を調べる必要もなくなり、より道路構造令の利便性が高まる。

4) 二級国道(県管理国道)の整備について

当市においては、国道113号、290号、460号の3路線があるが、いずれも歩道の整備が進んでおらず、特に市街地における歩道の拡幅整備要望が多い。国庫補助等国の関与を強めて整備促進を望む。併せて歩道のバリアフリー化、自転車歩行車道の整備促進を望む。

5) 国道7号線の改良整備について

新発田市を通過する国道7号線は、現在拡幅改良を進めているが、整備を促進させより早い段階での整備完了を望む。

○現状

- ・ 新新バイパスの4車線化、日本海東北自動車道の供用などの広域的交通機能の充実に伴う行動圏が拡大しており、これらに接続する主要幹線道路の整備をさらに進める必要がある。
- ・
- ・ 市街地の拡大やマイカーの増加に伴って、中心部における通過交通と地域内交通が集中し交通渋滞が生じている。
- ・ 市街地の中心部では都市計画道路や生活道路が未整備なことや幅員が狭いため、安全で快適な歩行空間が確保されていない。また公共施設のバリアフリー化が遅れている。
- ・ 歴史的街なみと一体となった道路景観整備に乏しい。
- ・ 長期未着手の都市計画道路があり、法規制などの弊害がある。
- ・ 市町村合併に伴い市域が広大となり、市道の均衡ある整備が必要となる。

○課題

- ・ 広域交通体系への整備
- ・ 環状軸と放射軸を中心とした交通ネットワークの形成
- ・ 地域の特性に応じた機能的な道路網の整備
- ・ 商業地、住宅地における歩行空間の整備
- ・ 交通弱者に配慮した施設整備
- ・ 都市景観形成を図るための緑化及び建築物などの調和、電線共同溝の整備
- ・ 都市計画道路の見直し
- ・ 緊急度、優先度を評価した効率的・効果的な道路整備

②-2 地域の目指すべき将来像

本市は県北地方の中核都市としての役割が強く求められるため、その実現に向けて、都市間交通と地域内交通相互が機能的に連携した、体系的な交通網の確保及び安全で魅力ある歩行空間を確保することが必要である。また、これからの道路施設は、市街地内における生活活動の利便性や通行時の快適性の向上を図るだけでなく、非常時における防災空間としての役割など、多種多様な空間機能の向上が求められている。

本市は日本海東北自動車道が開通したことにより、県内各地、県外とのアクセスも向上し、人、物の交流の大動脈と考えられている。今後、中条IC以北の整備が進むことによって、ますますその役割が大きくなることが考えられる。

中心市街地では、「環状軸」と「放射軸」の2種類の軸線を基本として、これらを機能的に配置した道路骨格網を形成する。

豊浦地域、紫雲寺地域においては、中心市街地と結ばれる「放射軸」とともに、近隣市町との交流促進の役割を担う国道、県道についても整備を図る。

また、地域内の生活道路を含め、各々の路線に応じて求められる役割や機能の維持・強化と、公共空間としての質的な充実を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<p>・高規格幹線道路のネットワーク化</p>	<p>環状軸と放射軸を基本とした道路網の配置</p>	<p>目的地への移動の効率化、近隣市町との交流促進。</p>	
<p>・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成</p>	<p>バリアフリー歩道、公共施設のバリアフリー化</p>	<p>交通弱者が安全に歩行できる道路と施設の確保。これによる健常者との交流促進。</p>	
<p>・生活道路の整備</p>	<p>堆雪帯の確保された道路 消雪パイプによる無雪道路</p>	<p>冬期間における安全な通行帯確保。 積雪期間においても緊急車両が安全に通行できる道路。</p>	
<p>⋮</p>			